

エコアクション21



環境省
エコアクション21
認証番号 0003109

環境経営レポート



対象期間：2020年7月1日～2021年6月30日（2021年度）

作成年月日：2021年10月15日

株式会社サトウ精機
代表取締役社長 佐藤智栄

<目次>

<u>1.環境経営方針</u>	-----	1頁
<u>2.事業活動概要</u>	-----	2～3頁
(1) 事業者及び代表者名		
(2) 所在地		
(3) 環境管理責任者及び連絡先		
(4) 事業内容		
(5) 事業規模		
(6) 認証登録範囲		
(7) 実施体制		
<u>3.環境経営目標</u>	-----	4頁
<u>4.環境経営計画</u>	-----	5頁
<u>5.環境経営活動の取組結果と評価</u>	-----	6～7頁
(1) 取組み結果		
(2) 取組み評価		
(3) 環境管理責任者による12ヶ月間の取組み総合評価		
(4) 次年度の取組み計画		
①環境経営目標	-----	8頁
②環境経営計画	-----	9頁
<u>6. 地域環境活動</u>	-----	10頁
<u>7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無</u>	-----	11頁
<u>8. 社長による全体の評価と見直し</u>	-----	11頁

(株)サトウ精機 環境経営方針

当社は、地球創世期に誕生した地下資源を基に、多くのエネルギーを費やし作られた材料を用い、設計仕様に基づき、正確な部品をお客様にお届けする使命を負い活動してきております。いま、我われが生存する地球環境が危機的状态に陥る状況の中、これ以上環境破壊を進めさせないよう、やらなければならないことは、いかにエネルギーを使わずに経済活動を行うかです。

したがって、我われは常に省資源、省エネルギーを意識し、法の遵守はもちろん二酸化炭素排出量の削減と廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、化学物質の削減グリーン購入の推進、製品・サービスの環境配慮など「継続的環境改善」に向け全社員で取り組んでいきます。

具体的には下記の行動を指針とします

〔 無駄なものは買わない
無駄なものは使わない
無駄なものは作らない 〕

そのためには

不良品の低減
在庫品の極小化
リサイクルの推進
電気の節約
環境配慮した製品設計の推進
環境配慮した製品の購入

を行っていきます

制定日 2008年 4月1日

改訂日 2020年11月9日

株式会社サトウ精機

代表取締役社長

佐藤 智栄

2.事業活動概要

(1) 事業者名および代表者名

株式会社サトウ精機

代表取締役社長 佐藤 智栄

(2) 所在地

〒025-0324 岩手県花巻市小瀬川第3地割143番地3

電話番号:0198-24-6540 ファクシミリ:0198-24-6252

(3) 環境管理責任者名および連絡先

責任者:管理部長 風間 定光

連絡先:(2)に同じ

E-Mail:sadamitsu.kazama@sato-seiki.com

(4) 事業内容

金属部品の精密切削加工、製造機械設備の部品加工、その他部品加工

- ① 自動車関連部品設計及び加工
- ② 民生機器部品加工
- ③ 半導体製造装置部品加工
- ④ ラベルプリンタ関連部品加工
- ⑤ コンデンサ製造装置部品加工
- ⑥ OA機器、通信機器部品加工
- ⑦ 光学部品加工
- ⑧ 医療機器部品加工
- ⑨ 各種治具の設計及び製作
- ⑩ 自動機設備設計及び製作、組付け

(5) 事業規模

(税込)

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	百万円	227	232	270	325	259
従業員	人	29	28	29	29	29
床面積	m ²	550	550	550	550	550

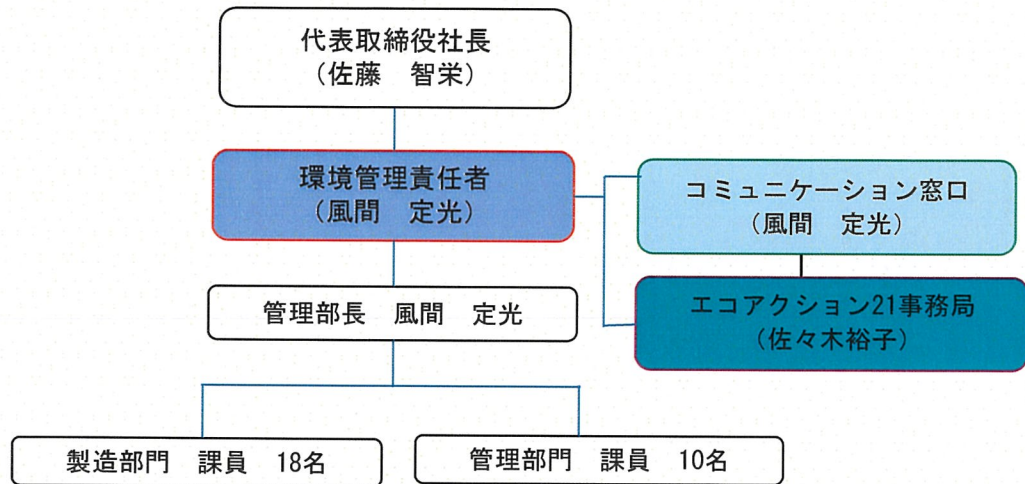
※従業員数は役員も含まれた人数

(6) 認証登録範囲

全社、全事業活動

(7) 実施体制

<作成責任者>
代表取締役社長 佐藤 智栄



<役割と責任・権限>

【代 表 者】 佐藤 智栄

- ①経営における課題とチャンスを整理し明確にすると共に、環境経営に関する方針を策定する。
- ②環境管理責任者の任命及び各自の役割を定めた実施体制の構築
- ③環境管理責任者からの報告を受け、全体の評価見直し指示を行う
- ④取組みに対する資源を用意する

【環境管理責任者】 風間 定光

- ①代表者に代わりシステムを構築し、運用する
- ②代表者に結果を報告する
- ③環境方針を作成する
- ④必要な教育訓練を計画し、実施する

【部 門 責 任 者】 風間 定光

- ①部門内において、省資源・省エネ・節水を推奨、実施する

【コミュニケーション窓口】 風間 定光

- ①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う
- ②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を示し、経過・結果の報告を受け改善定着を図る

【エコアクション21事務局】 佐々木裕子

- ①エコアクション21目標達成の取組みを推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う
- ②公害防止、緊急事態への予防処置を行う

【活 動 員】 全社員

- ①部門責任者の下、省資源・省エネ・節水に努める
- ②エコアクション21取組みに関する教育訓練を受ける
- ③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する

中長期・環境経営目標 (2019年度～2023年度)

承認	環境管理 責任者	作成

No	項 目	取り組み案	単 位	基準値 (2018年度)	中 長 期 目 標 (5年)				
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	二酸化炭素排出量の削減	エコドライブの推進	kg-CO ₂ /百万円	663.3	650 (2%減)	636.8 (4%減)	623.5 (6%減)	610.2 (8%減)	597.0 (10%減)
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化 不使用電力の節約	kwh/百万円	995.0	975.1 (2%減)	955.2 (4%減)	935.3 (6%減)	915.4 (8%減)	895.5 (10%減)
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	L/百万円	45.77	44.85 (2%減)	43.94 (4%減)	43.02 (6%減)	42.11 (8%減)	41.19 (10%減)
4	水使用量の削減	節水の励行	m ³ /百万円	1.34	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)
5	廃棄物排出量の削減	分別の徹底及び再資源化 材料歩留り改善 不良率の低減	kg/百万円	25.07	24.57 (2%減)	24.07 (4%減)	23.57 (6%減)	23.06 (8%減)	22.56 (10%減)
6	化学物質使用量の削減	最適洗浄液の見極め 排出量の削減	kg/百万円	1.38	1.35 (2%減)	1.32 (4%減)	1.30 (6%減)	1.27 (8%減)	1.24 (10%減)
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の取り組み促進	品目数	73	75 (3%増)	77 (6%増)	80 (9%増)	82 (12%増)	84 (15%増)
8	製品及びサービスの向上	リサイクルしやすい製品設計 環境負荷の少ない製品設計	提案件数	6	7 (1.2増)	8 (1.35増)	9 (1.5増)	10 (1.65増)	11 (1.8増)
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施 地域環境活動	実施回数	6	7 (1.2増)	8 (1.35増)	9 (1.5増)	10 (1.65増)	11 (1.8増)

※「水使用量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断。目標値を昨年度同様とし維持継続項目に変更し取り組む事とする。

環境経営目標(2021年度)

(活動期間: 2020年7月~2021年6月)

承認	環境管理 責任者	作成
		

No	項目	取り組み案	単位	基準値 (2018年度)	中長期 最終目標 (2023年度)	今年度短期目標 (2021年度) 3年目	担当者
1	二酸化炭素排出量削減	エコドライブの推進	kg-CO ₂ /百万円	663.3	597.0 (10%減)	623.5 (5%減)	社長
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化 不使用電力の節約	kwh/百万円	995.0	895.5 (10%減)	935.3 (6%減)	風間
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	L/百万円	45.77	41.19 (10%減)	43.02 (6%減)	佐々木
4	水使用量の削減	節水の励行	m ³ /百万円	1.34	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	風間
5	廃棄物総排出量の削減	分別の徹底・再資源化 材料歩留り改善 不良率の低減	kg/百万円	25.07	22.56 (10%減)	23.57 (6%減)	風間
6	化学物質使用量の削減	最適洗浄液の見極め 排出量の削減	kg/百万円	1.38	1.24 (10%減)	1.30 (6%減)	風間
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の取り組み促進	品目数	73	84 (15%増)	80 (9%増)	佐々木
8	製品・サービスの向上	リサイクルしやすい製品設計 環境負荷の少ない製品設計	提案件数	6	11 (1.8増)	9 (1.5増)	遠藤
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施 地域環境活動	実施回数	6	11 (1.8増)	9 (1.5増)	社長

※「水資源投入量・排水量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断、目標値を維持管理項目に変更し取り組む事とする。

環境経営計画(2021年度)

(活動期間:2020年7月~2021年6月)

承認	確認	作成

進捗チェックは環境管理責任者が4半期毎に実施する

No	項目	具体的取り組み		単位	基準値 (2018年度)	今年度目標値 (2021年度) 3年目	担当者	日程				備考
								7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
1	二酸化炭素排出量削減	エコドライブの推進	「エコドライブ10のすすめ」教育実施	kg-CO2/百万円	663.3	623.5 (6%減)	社長	教育実施(7月中)				
		エネルギーの節約	外気侵入による熱損失防止						対策実施	効果確認		
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化	電力使用量監視装置の有効活用(電力ピークカット対策実施)	kwh/百万円	995.0	935.3 (6%減)	風間	空調の実態調査(8月まで)	対策検討(9月まで)	ルール化(10月まで)	実施(11月から)	
			空調の適温ルール化及び徹底					実施調査(夏場)	実施調査(冬場)	ルール化		
		不使用電力の節約	休み時間・残業時等、不必要な時は消灯を徹底									
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	一括(まとめ)配達を心掛ける(朝ミーティングによる配達ルート確認)	L/百万円	45.8	43.02 (6%減)	佐々木	周知(7月中)				
4	水使用量の削減	節水の励行	朝礼などで節水励行の周知徹底	m/百万円	1.34	1.34 (維持継続)	風間	周知(7月中)				
5	廃棄物総排出量の削減	分別の徹底・再資源化	油分離機導入による廃液の削減・金属類のリサイクルの促進	kg/百万円	25.07	23.57 (6%減)	風間	ルール化周知(7月中)	4半期毎の進捗チェックの実施			
		梱包・出荷の改善	出荷時の通パレット・通箱を利用し廃棄物排出抑制に取り組む					現状調査	通パレット・通箱製作	運用		
		不良率の低減	発生原因の追究と是正(対策書の義務化と予防処置の周知徹底)					ルール化周知(7月中)	毎月の経営会議で妥当性検証			
6	化学物質・使用量の削減	最適洗浄液の見極め	油分離性の良い切削液見極めを行ない、洗浄液排出抑制に取り組む	kg/百万円	1.38	1.30 (6%減)	風間	前年度取組確認(7月中)	4半期毎の進捗チェックの実施			
		排出量の削減	代替物質の調査を行ない、洗浄液排出抑制に取り組む						業者との打合せ	代替物質の試行テスト実施		
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入	エコマーク文具を含めグリーン商品の購入に努めたか	品目数	73	80 (9%増)	佐々木	周知(7月中)				
		グリーン購入の取組促進	グリーン購入ネットワークの推進									
8	製品・サービスの向上	リサイクルしやすい製品設計	素材の種類を吟味しリサイクル率向上に努めているか。	提案件数	6	9 (1.5増)	遠藤	年間を通して事前に電先と交渉し設計に反映				
		環境負荷の少ない製品設計	製品の小型化・軽量化などを吟味した工法を提案しているか。					年間を通して事前に電先と交渉し設計に反映				
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施	ビデオ教育・活動内容説明教育など	実施回数	6	9 (1.5増)	社長	年間を通じた教育訓練計画に基づく				
		地域環境活動	社内環境美化運動の実施									実施予定(5月)

※「水使用量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断。目標値を維持継続項目に変更し取組む事とする。

5.取組結果と評価

(1) 2020年7月1日～2021年6月30日までの12ヶ月間の取組み結果

No	項目	単位	基準値 (2018年度実績)	今年度短期目標値	今年度実績値	達成率 (%)	達成の 可否判定
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ /百万円	663.3	623.5	434.3	143	◎
		Kg-CO ₂	(総排出量:153,881)	144,648	(総排出量:112,492)	128	
2	電気使用量の削減	kwh/百万円	995.0	935.3	727.5	128	◎
3	化石燃料使用量の削減	L/百万円	45.70	43.02	40.0	108	◎
4	水使用量の削減	m ³ /百万円	1.34	1.34	1.30	102	○
5	廃棄物排出量の削減	kg/百万円	25.07	23.57	12.2	193	◎
6	化学物質・使用量の削減	kg/百万円	1.38	1.30	1.30	100	○
7	グリーン購入の推進	品目数	73	80	76	95	○
8	製品及びサービスの向上	提案件数	6	9	8	88	△
9	環境経営活動の推進	実施回数	6	9	8	88	△

※1達成の可否判定について

◎達成(105%超)○達成(95%以上105%以下)△不十分(85%以上95%未満)×未達成(85%未満)

※2①の二酸化炭素排出量は環境省地球環境局からの「事業者からの温室効果ガス排出量算定ガイドライン(試案Ver1.6)の9.電力会社の平均値を使用。時期中期目標設定はウエスト電力の排出係数(0.465kg-CO₂)を用いる

(2)取組み評価

今期売上が前年度比 約20%減少。昨年度からの「コロナ禍の影響」は、否めない中、売上換算(比率)に伴う排出量・使用量の増加が懸念されたが、結果的にNo1～No.7の7項目において目標を達成できた。しかしながら、No.8、No.9においては、こちらも、前年度に引き続き「コロナ禍の影響」により計画変更・中止を余儀なくされた事もあり、目標を達成できなかった。なお、各項目の取り組み評価は以下の通りです。

①二酸化炭素排出量の削減について

「環境への負荷状況」の取りまとめ表にもある様に、エネルギー消費は前年度より減少しているものの、売上換算比率に伴う今年度実績値は前年度より増えてしまった。しかしながら今年度の目標は達成出来た。

②電気使用量の削減について

「環境への負荷状況」の取りまとめ表にもある様に、電力使用量は前年度より減少しているものの、売上換算比率に伴う今年度実績値は前年度より増えてしまった。しかしながら今年度の目標は達成出来た。

③化石燃料使用量の削減について

今年度の特徴として、並年に無い寒気・積雪に伴い、軽油・灯油の使用量が増加傾向にあったものの、年間通しての「一括まとめ納品・引き取り」の取り組みによるガソリン使用料の削減が功を奏した。

④水使用量の削減について

節水の励行を強化し、中・長期目標で設定した現状維持で今後も取り組む。

⑤廃棄物排出量削減について

主たる廃棄物の金属くずは、分別の徹底を計り、リサイクル促進に努めてきた。分別ルールも浸透してきた結果である。
また、廃棄物の発生抑制のため、取引先との繰り返し利用できる専用パレットや通い箱を製作し運用活用してきた事もあり、トータル的に排出量削減に大きく貢献できた。

⑥化学物質使用量削減について

使用量は前年度より若干増えてしまったが、今年度目標は達成出来た。また、前年度からの取り組みである廃洗浄液排出抑制につながる最適切削液の他マシンへの横展開(切り替え)を実施してきた。

⑦グリーン購入の推進について

コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確立しリサイクル化に取り組んでいるものの、品目数は前年度比ほぼ横ばい。今年度目標の品目数は未達となってしまった。グリーン購入の推進に向け、全体朝礼などをPR活動とし取り組む。

⑧製品・サービスの向上

設計業務を通して提案型製品設計に取り組むべく、客先との事前打ち合わせを実施するも、「コロナ禍の影響」もあり計画倒れの未達成となった。

⑨環境経営活動の推進

環境への取り組み意識の向上を計るべく、教育訓練に力を入れてきた。しかしながら「コロナ禍の影響」により教育訓練計画が中止となった項目があり未達成となった。

(3)環境管理責任者による12ヶ月間の取り組み総合評価

今期は中・長期取り組み3年目の年である。昨年度から続く「コロナ禍の影響」の中、計画変更・中止を余儀なくされた項目もあったが経営会議を通して「4半期毎の進捗チェック管理」「必要に応じた見直し会議の開催」に取り組んできた効果は大きい。次年度は全項目の目標達成に向け取り組んでいきたい。

中長期・環境経営目標
(2019年度～2023年度)

承認	環境管理 責任者	作成



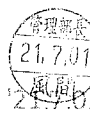
(5)次年度の取り組み計画

No	項目	取り組み案	単位	基準値 (2018年度)	中長期目標(5年)				
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	二酸化炭素排出量の削減	エコドライブの推進	kg-CO ₂ /百万円	663.3	650 (2%減)	636.8 (4%減)	623.5 (6%減)	610.2 (8%減)	597.0 (10%減)
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化 不使用電力の節約	kwh/百万円	995.0	975.1 (2%減)	955.2 (4%減)	935.3 (6%減)	915.4 (8%減)	895.5 (10%減)
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	L/百万円	45.77	44.85 (2%減)	43.94 (4%減)	43.02 (6%減)	42.11 (8%減)	41.19 (10%減)
4	水使用量の削減	節水の励行	m ³ /百万円	1.34	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)
5	廃棄物排出量の削減	分別の徹底及び再資源化 材料歩留り改善 不良率の低減	kg/百万円	25.07	24.57 (2%減)	24.07 (4%減)	23.57 (6%減)	23.06 (8%減)	22.56 (10%減)
6	化学物質使用量の削減	最適洗浄液の見極め 排出量の削減	kg/百万円	1.38	1.35 (2%減)	1.32 (4%減)	1.30 (6%減)	1.27 (8%減)	1.24 (10%減)
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の取り組み促進	品目数	73	75 (3%増)	77 (6%増)	80 (9%増)	82 (12%増)	84 (15%増)
8	製品及びサービスの向上	リサイクルしやすい製品設計 環境負荷の少ない製品設計	提案件数	6	7 (1.2増)	8 (1.35増)	9 (1.5増)	10 (1.65増)	11 (1.8増)
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施 地域環境活動	実施回数	6	7 (1.2増)	8 (1.35増)	9 (1.5増)	10 (1.65増)	11 (1.8増)

※「水使用量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断。目標値を昨年度同様とし維持継続項目に変更し取り組む事とする。

環境経営目標(2022年度)

(活動期間:2021年7月~2022年6月)




承認	環境管理 責任者	作成
		

No	項目	取り組み案	単位	基準値 (2018年度)	中長期 最終目標 (2023年度)	今年度短期目標 (2022年度) 4年目	担当者
1	二酸化炭素排出量削減	エコドライブの推進 エネルギーの節約	kg-CO ₂ /百万円	663.3	597.0 (10%減)	610.2 (8%減)	社長
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化 空調機の適正管理 不使用電力の節約	kwh/百万円	995.0	895.5 (10%減)	915.4 (8%減)	風間
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	L/百万円	45.77	41.19 (10%減)	42.11 (8%減)	佐々木
4	水使用量の削減	節水の励行	m ³ /百万円	1.34	1.34 (維持継続)	1.34 (維持継続)	風間
5	廃棄物総排出量の削減	分別の徹底・再資源化 梱包・出荷の改善(横展開) 不良率の低減	kg/百万円	25.07	22.56 (10%減)	23.06 (8%減)	風間
6	化学物質使用量の削減	最適洗浄液への切り替え 排出量の削減	kg/百万円	1.38	1.24 (10%減)	1.30 (6%減)	風間
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の取組促進	品目数	73	84 (15%増)	80 (9%増)	佐々木
8	製品・サービスの向上	リサイクルしやすい製品設計 環境負荷の少ない製品設計	提案件数	6	11 (1.8増)	9 (1.5増)	遠藤
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施 地域環境活動	実施回数	6	11 (1.8増)	9 (1.5増)	社長

※「水資源投入量・排水量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断、目標値を維持管理項目に変更し取り組む事とする。

環境経営計画(2022年度)

(活動期間:2021年7月~2022年6月)

承認	確認	作成
		

進捗チェックは環境管理責任者が4半期毎に実施する

No	項目	具体的取り組み	単位	基準値 (2018年度)	今年度目標値 (2022年度) 4年目	担当者	日程				備考
							7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
1	二酸化炭素排出量削減	エコドライブの推進 エネルギーの節約	kg-CO2/百万円	663.3	610.2 (8%減)	社長	数回実施(7月中) 効果確認 効果確認				
2	電気使用量の削減	空調温度の適温化 空調機の適正管理 不使用電力の節約	kwh/百万円	995.0	915.4 (8%減)	風間	対策実施(7月中) 効果確認 効果確認 効果確認 効果確認				
3	化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油・灯油の節約	L/百万円	45.8	42.11 (8%減)	佐々木	通知(7月中)				
4	水使用量の削減	節水の励行	m/百万円	1.34	1.34 (維持継続)	風間	通知(7月中)				
5	廃棄物総排出量の削減	分別の徹底・再資源化 梱包・出荷の改善(横展開) 不良率の低減	kg/百万円	25.07	23.06 (8%減)	風間	ルール化(7月中) 現状調査 品質状況回覧ルール化	4半期の進捗チェックの実施 通パレット・通箱製作 毎月の経営会議で妥当性検証			
6	化学物質・使用量の削減	最適洗浄液への切り替え 排出量の削減	kg/百万円	1.38	1.27 (8%減)	風間	旋盤用切り替え 業者との打合せ	フライス用切り替え 代替物質の試行テスト実施			
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の取組促進	品目数	73	82 (12%増)	佐々木	通知(7月中)				
8	製品・サービスの向上	リサイクルしやすい製品設計 環境負荷の少ない製品設計	提案件数	6	10 (1.65増)	遠藤	年間を通して事前に客先と交渉し設計に反映 年間を通して事前に客先と交渉し設計に反映				
9	環境経営活動の推進	教育訓練の実施 地域環境活動	実施回数	6	10 (1.65増)	社長	年間を通じた教育訓練計画に基づく				実施予定(6月)

※「水使用量の削減」において、昨年度の実績を踏まえ削減効果が限界値と判断。目標値を維持継続項目に変更し取組む事とする。

6.地域環境活動

地域環境活動として、春期と秋期に自社の周辺道路・側溝の清掃を実施。また
今後は自社敷地内への植林を推進していきます。

2021年5月1日実施 全社環境美化活動



近隣土地の廃棄物拾い



敷地内外廃材回収



構内敷地内草取り



県道123号線草刈・ゴミ拾い



敷地内花壇等整備

7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、2021年6月30日にチェックリストで確認し、その結果は下表のとおりで法律違反、訴訟、環境に関する苦情はありませんでした。

内容	結果
法律違反への有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	無

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

①今年度の結果に対する評価

昨年度からの「コロナ禍の影響」によって、取り組みに支障を生じた項目があり非常に残念である。この様な中において、9項目中7項目が目標達成出来た事は評価すべき点である。

②全体の見直し

< 仕 組 み > :現状維持で良い。継続的改善に取り組む事。

< 運 営 > :取り組みに必要な手順書を有効活用し、P・D・C・A(環境経営マニュアル)をうまく回して進めてほしい。

③来年度の取り組みへの指示

経営上の課題とチャンスを整理し見直した結果、現状の環境経営方針を進める。無駄なものは「買わない」「使わない」「作らない」を受け、「個々人、何をすべきか」具体的な行動そしてより一層の取り組みを期待したい。